

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	女30
----------	-----

年月日	2024 年 3 月 26 日 (火)
大会名	令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

公 式 記 録 用 紙

A	神戸星城高等学校										県立水海道第二高等学校						B
都道府県 三重県		市町村 津市			会場 サオリーナ メインコート										回戦 3回戦		
前半	A 17	B 12	最終 結果	A 28	B 24	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m 7m コソバ	A	B			
7m 7m 得点/総数		A 4/4		チーム タイムアウト						チーム タイムアウト			B 0/0		7m 7m 得点/総数		
		1 2357		2 後 0556 3						1 1429			2 後 2037 3				

No.	神戸星城	G	W	2'	D	DR	No.	水海道二	G	W	2'	D	DR
10	飯田 空	4					1	佐山 友唯					
12	由井 美羽						2	長谷川 妃依					
17	中野 柚季	5	1				3	浅野 心友					
20 c	向 理緒	8					4	飯村 有里	3				
21	伊原 泉	1					5 c	細津 真由					
23	北 和香奈	6					6	風見 凜	9				
24	中山 果凜	4					7	三上 笑叶	8				
28	濱口 杏奈						8	倉持 いろは					
30	豊島 愛海						9	国仙 倭叶					
							10	関 優衣奈	2		1		
							11	吉田 セリナ	2				
							12	荒井 心花					
							13	金井 日胡					
							14	大島 真珠					
							15	宮澤 眞理菜					
							16	石塚 琳夏					
監督A	野路 良子						監督A	飯田 健一					
役員B	長谷川 諒						役員B	佐藤 仁					
役員C	洪 徳顯						役員C	飯村 裕志					
役員D	野路 嗣治						役員D	島方 桃奈					

A	チーム役員A署名										B
---	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

特記事項

レフェリー	佐藤 和幸	近藤 悟		
T D	田中 孝一	石立 真悠子		
MO	永春文義			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	女30	女子 [①]
----------	-----	-------------

令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月26日 (火)	会場	サオリーナ メインコート		
種別	女子	回戦	3回戦		
Aチーム名			Bチーム名		
神戸星城高等学校			県立水海道第二高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
28	17	前半	12	24	
	11	後半	12		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評		記載者氏名	重松摩耶		
<p>大会3日目Bコート第1試合目は水海道二のスローオフで始まり、No.7三上が先制点を決めた。その後神戸星城はNo.24中山が1点を取り返し、続いてNo.20向とNo.23北も続いて得点する。水海道二は再びNo.7三上がステップシュートを決めると、No.10関も得点し、5分半には3-3と同点になる。その後も相手が1点取ってはすぐに1点を返す展開が続くが、13分頃から神戸星城は4連続得点するなど、点差を少しずつ広げていく。追いつきたい水海道二だが、なかなか差を詰めきることができないまま前半は17-12で神戸星城がリードして折り返す。</p> <p>後半開始1分、水海道二No.7三上が得点すると、そこからNo.6風見、No.4飯村も得点し、後半8分には19-18の1点差にまで詰め寄る。勢いづいた水海道二は流れをつかんだかに見えたが、神戸星城は落ち着いてプレーを継続し、No.23北やNo.10飯田を中心にした加点や、GK豊島のナイスセーブにより追い越しを許さない。その後も神戸星城はセットプレーを中心に淡々とゴールを狙い、得点を重ねた。前半のリードを生かした神戸星城が28-24で勝利し、準々決勝への駒を進めた。</p>					